



日本共産党品川区議会議員

週刊 **みやざき かつとし ニー**

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2010年1月10日 No.690

日本共産党品川区議団ホームページは [共産党 品川](#)



2010年
度予算

区民の願いに応えて

要望191項目にまとめ区長へ提出



写真下は、区長に申し入れる共産党区議。
右から4人めが私(みやざき)。写真左は
区長に予算要望書を手渡す南恵子議員。



新年度予算に対する要望を年末12月24日濱野区長に提出しまし
た。要望は区民の皆さんから寄せられた191項目(ウラ面に要
旨)。要望書提出には共産党区議団と前田品川地区副委員長が出
席、区側は区長のほか本間副区長と企画部長が同席しました。

この不況の中で区民の暮らし
と営業はますます深刻。区には
予算編成にあたって区民のSO
Sを受け止めて奮闘することが
求められています。

予算要望は、①中小企業の経
営と雇用を守る支援、②障害者
施設と特養老人ホームの増設、
③子育て世代の経済支援と保育
園増設、④区の非常勤・アルバ
イトの労働条件改善、⑤大規模
開発優先でなく区営住宅建設や
住宅耐震化の推進、⑥学校選択
の中止と教育改革の見直し、⑦
核廃絶運動に取り組むことの一
つを柱に、具体的な要望とし
て191項目にまとめました。
あわせて年末年始の緊急要望と
して休み中でも相談を受付ける体
制を求めました。

中小企業支援―①中小企業

支援の件費補助に区が上乗せすること、工場家賃など固定費への支援をすること。②公契約条例を策定し、公共工事の下請け・孫請け業者の労賃が適切に支払われるようにすること。③小規模事業者登録制度を策定し、区内中小企業に仕事回る仕組みをつくること。④商店街装飾灯の電気代全額補助を実施すること。⑤大型店誘致をあらため野放しの出店に歯止めをかけること。チェーン店に商店会への加入を指導すること。⑥自家労賃を必要経費と認めるよう国に求めること。商工業の実態調査を毎年実施すること。

高齢者福祉・介護保険―①

介護保険の積立を使って保険料を引き下げること。低所得者への軽減をすること。②八潮特養ホーム建設以降の増設計画をつくること。小規模・多機能施設を増設すること。③軽度の要支

援・要介護者が必要な介護を受

けられるよう国に働きかけるとともに、区の独自策を設けること。④子どもに続いて高齢者医療を無料化すること。当面、入院費用の負担軽減制度をつくること。⑤配食サービスは利用料を引き下げ、昼・夜とも回数を増やすこと。

2010年度予算要望書

日本共産党品川地区委員会・同区議団

その1 抜粋

障害者福祉―①障害者自立

支援法を廃止するよう国に求めること。②授産施設などの利用料負担を廃止すること。③障害者の雇用促進へ、区役所に雇用の場をつくるとともに社会福祉法人に対してを指導すること。また、区内企業にも働きかけること。④入所施設、グループホーム、ケアホーム、ショートステイ

を増設すること。⑤福祉タクシー

利用券の所得制限はなくし、支給枚数を増やすこと。
低所得者対策―①くらし、雇用などの総合相談窓口(ワンストップサービス)を設置し周知すること。②年末年始は福祉事務所の窓口を開設すること。主要駅頭で臨時相談ブースを設

を元に戻すよう国に求めること。

②喘息患者の医療費助成制度の周知徹底をはかること。都に対象疾患の拡大を求めること。

子育て支援―①保育園入園

待機児ゼロへ認可保育園を増設すること。②保育所への直接契約の導入および最低基準の引き下げをしないよう国に求めること。③5歳児だけ切り離す保育は中止すること。保育園の分園とするなら希望の多い0〜2歳児の保育園にすること。④出産費用の父母負担軽減へ出産祝い金制度を創設すること。

以下、次週に続きます

次週は①リサイクル・温暖化対策、②街づくり・防災、住宅、③教育、④情報公開・区民サービス、⑤若者の雇用です。なお、みなさまからのご要望をお待ちしております。

無料
弁護士
が対応

法律相談

は

1月22日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所

生活相談は随時受付

